

文化を創る、フラッグシップ。

GRANSHIP

グランシップマガジン vol.31



2022 秋

GRANSHIP グランシップマガジン vol.31 2022年9月15日発行

特集

グランシップ伝統芸能シリーズ

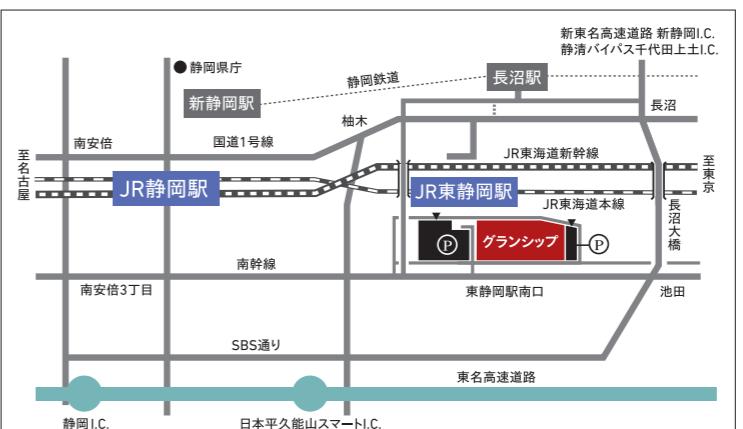
グランシップ静岡能へようこそ!

公益財団法人 静岡県文化財団



グランシップサマーフェスティバル2022～劇場からのギフトプログラム～
グランシップ 誰もがWonderfulアート関連企画「オープンアトリエ」

撮影センター：丑尾 真人



ACCESS

- JR東静岡駅南口隣接
静岡鉄道長沼駅から徒歩10分
- 東海道新幹線（ひかり）で
東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分
- 車では東名高速道路 静岡I.C.から20分
日本平久能山スマートI.C.から10分
新東名高速道路 新静岡I.C.から15分
静清バイパス千代田上土I.C.から10分
- 富士山静岡空港から静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で静岡駅まで55分
JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分

GRANSHIP
Shizuoka Convention & Arts Center

ふじのくに
芸術回廊

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 指定管理者 公益財団法人静岡県文化財団
〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716 <https://www.granship.or.jp>

徳川家康

グラニシップ伝統芸能シリーズ
グラニシップ 静岡能へようこそ

能楽をお楽しみいただける
「グランシップ 静岡能」。今回
は、グランシップでは4年ぶり
となる観世流能楽師による
公演です。2023年の大河

また、「グランシップ静岡能」をよりお楽しみいただけ
る関連企画として、「伝統芸能シリーズ講演会」も開催し
ます。次のページでは、「静岡と能楽の深いつながりやスポーツ」と、歴史について少しずつご紹
介します。この記事を読んで、もっと詳しく知りたい! とな
った方は、ぜひ、12月の「伝統芸能シリーズ講演会」、そ
して2023年1月の「グラ
ンシップ静岡能」へご来場くだ
さいね。

歌謡舞付をお楽しみしいかた
けるよう「グランシップ伝統
芸能シリーズ」として年間を
通して多彩な公演を開催し
ています。

中でも、開館以来継続して
取り組んでいるのは、静岡に
ゆかりの深い能楽です。解説
と実演で誰にでもわかりやす
い「能楽入門公演」をはじめ、
小学生から大学生まで、各世
代に合わせ地域や教育機関
と連携した「グランシップ伝
統芸能普及プログラム」によ
り、観世流の稽古を受けたとさ
るアーティストによる、表立つ
演します。

観世流の祖である観阿弥・
世阿弥が室町時代に大成し
た能楽は、江戸時代には幕府
の「式楽」とされ、年中行事・
儀礼に欠かせない武家の教養
として広まりました。

初代将軍・徳川家康は人
質として今川家に預けられて
いた幼少期から能に親しみ、
観世流の稽古を受けたとさ

観て知つて深めてみませんか

卷之三

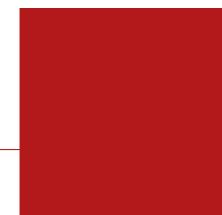
能樂



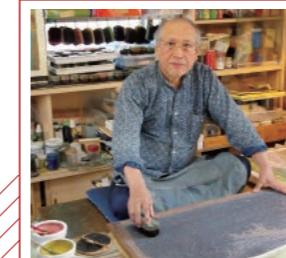
グランシップ伝統芸能シリーズ

グランシップ静岡能へようこそ

The image is a vertical collage of four distinct photographs. On the left, there is a large yellow rectangular area with a red decorative border at the top. The top right photograph shows a traditional Japanese building with a dark tiled roof and red wooden beams. The middle right photograph depicts two performers in traditional Japanese courtly or theatrical attire; one is wearing a purple robe with a white diamond pattern and holding a tray with a small object, while the other is in a dark robe with a white diamond pattern. The bottom right photograph shows a person from the side, wearing a black turtleneck sweater, gesturing with their hands as if conducting or performing.



表紙の緑



浦田周社 《安倍峠「秋光」》 2001年 400×530mm 木版画

〈静岡市梅ヶ島温泉から北へ徒歩約2時間、安倍川源流部にある峠。山梨県との県境にあたる。〉※林道の車両通行規制に注意
浦周社(うらた かねたか)
1939年静岡市生まれ。高校卒業後、家業である浮世絵処「版隈」六世を継ぐ。1976年文化庁認定重要民俗文化財選定保存技術保持者に認定。浮世絵木版画彫摺技術保存協会会員となる。1994年静岡市芸術文化奨励賞受賞。1999年静岡県文化奨励賞受賞。2016年静岡県知事表彰受賞。2019年令和元年度文化庁地域文化功労者表彰受賞。2016年静岡産業大学内に「浦周社木版画美術館」開館。構想から彫り、摺りまで自ら手がけ作品を制作する一方、伝統技法の継承保存や版画の伝承、普及に尽力する。白日会会員、国際浮世絵学会会員、東京伝統木版画工芸協会会員、静岡県版画協会顧問。

- | | |
|----|---|
| 03 | グ「ハンハップ」伝統芸能シリーズ
グ「ハンハップ」静岡盤くもつじゅー |
| 06 | Column
岩下尚史の
伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。
Vol.31 若者への先入観はハズレがち。 |
| 07 | Pick up!
クラシックの華やかな名曲で新年をスタート
グ「ハンハップ」&静岡「ユーロイヤー」「ハカート」
Vol.21 |
| 08 | GRANSHIP Special Stage
鈴木優人指揮 バッハ・「レギカム・ジヤパン」
モーツアルト・レクイエム |
| 10 | Interview
スペシャルインター・木下 龍也
読む前と読んだ後の世界がわずかでも変わら
そういつ歌を書きたい。 |

能 楽 ヒ ス ト リ ア

観阿弥最期の
舞台となつた駿府

観世流の始祖・観阿弥は、今川家の法楽能のため
に駿府に招かれました。そして、静岡浅間神社で見
事な舞を演能。その舞台を最後に亡くなったと伝え
られています。



静岡浅間神社 写真提供:静岡県観光協会

現代に生きる 世阿弥の言葉

父・観阿弥とともに能を大成した世阿弥。今や誰もが知る「初心忘るべからず」は世阿弥の言葉です。世阿弥の「初心」は、若い頃の未熟な芸や、年齢ごとの芸の初めての境地を指し、芸の向上をはかるものとして、この初心を忘れてはいけないと説きました。

家康が残した『風姿花伝』

世阿弥が観世家の始まりや稽古法、演技の在り方などを芸術論としてまとめた『風姿花伝』。日本初の芸術論として世界的な名著としても知られています。家康が浜松城を居城とした際には、実兄・観世宗節が『風姿花伝』を書写。家康を経由して、観世文庫の貴重な伝書が守られました。



浜松城 写真提供:静岡県観光協会

家康の命で
駿府城下に
招集された
能楽師

家康は、駿府城に大名がやってくると、客人に息子の能を披露したそうです。豊臣秀吉から秀頼へと代替わりしても大阪城に仕候していた能役者に、以後は駿府に詰めるよう命じ、慶長10年半ばの駿府には大勢の能楽師が集まりました。当時の日本の能の中心地が静岡にあったと言えるでしょう。

グランシップ静岡能

演目のあらすじをご紹介しましょう。



松 風

世阿弥が改作した秋の季節曲
夢幻能のはかなき恋物語

須磨の浦を訪れた僧は、そこで松風・村雨という姉妹の海人の墓標の松があることを知り、経を上げて弔います。美しい二人の女と出会った僧は二人の宿に泊めてもうことになりました。僧が在原行平の和歌を詠み、松風・村雨の松を弔つたことを話すと女たちは涙を流しながら、行平から寵愛を受けた松風・村雨の亡靈だと明かし、彼の死で終わった恋を語るのでした。世阿弥が改作した秋の名曲で、松を行平に見立てて舞う珍しい演出が見どころのひとつです。



土 蜘 蛛

はじめての方も楽しめる
一大スペクタクル能

病にふせる源頼光のもとへ怪しげな僧が現れて、蜘蛛であることをほのめかし、突然頼光めがけて蜘蛛の糸を投げかけます。頼光を苦しめていたものは病気ではなく土蜘蛛の化け物だったのです。僧の正体を見定めた頼光が、とっさに抜いた名刀蜘蛛切によって難を逃れると土蜘蛛は山へ逃げ、それを成敗するべく頼光の家臣が追っていく…という物語。初心者でもわかりやすい変化に富んだ展開と、たくさんの蜘蛛の糸が飛び交う華やかな演出が見どころです。



撮影:前島吉裕

グランシップ伝統芸能シリーズ グランシップ静岡能

2023年1/21(土) 14:00~ ■ 中ホール・大地 ■ 一般5,500円 こども・学生1,000円

〈演目〉能「松風」 山階彌右衛門 他 / 能「土蜘蛛」 観世三郎太 他

岩下尚史
作家



日本人の古典的な暮らしや伝承芸能の実態に基づいた識見が注目され、講演会やテレビ番組などで活躍中。グランシップマガジン内の連載コラム「伝統芸は知るものではなく、身につけるもの。」でも人気を集めています。

小和田泰経
歴史学者



戦国時代の武将や城郭、甲冑、刀剣に詳しく、歴史関係のテレビ番組や講演会、執筆活動など幅広く活躍しています。NHK大河ドラマにも資料を提供する戦国時代のスペシャリスト。父は歴史学者の小和田哲男氏。

山階彌右衛門
能楽師



国内外での公演に加え、能楽の面白さを伝えるワークショップを精力的に展開。「グランシップ静岡能 能楽入門公演」では実演を交えた分かりやすい解説が好評を得ています。

12/3[土] 14:00~ ■ 6階交流ホール ■ 1,000円

作曲当時の響きを再現する“古、楽器 とは？”

主に中世からバロック時代に教会や宮廷で使われていたとされる古楽器。

現在オーケストラで使われているようなモダン楽器と比べて、どのように違うのでしょうか。代表的な楽器をご紹介します。



ヴァイオリン

約500年前に生まれた「楽器の王」 ガット弦ならではの温もりのある音色

古典派からロマン派にかけてオーケストラが規模を拡大し、ベートーヴェンが大音量を要求したことなどから、ヴァイオリンの大改造が行われました。写真は一見、現在の楽器と変わりがないよう見えるかもしれません、首(糸巻の上)の角度が反り、指板は短く、ガット弦が使われています。控えめな音量で温もりのある音色を響かせました。



オーボエ

落ち着いた音色、哀愁を帯びた響き バッハの数々の曲に貢献

写真①は、バロック時代のオーボエ。②オーボエ・ダモーレは「愛のオーボエ」という意味を持つオーボエより3度低い音階。③湾曲しているのはオーボエ・ダ・カッチャで「狩のオーボエ」を意味しますが狩に使ったわけではなく、オーボエより5度低い音階。黒い皮で巻き、金属のベルで作られています。

※今回の公演では使用されません。



トランペット(ナチュラルトランペット)

調性の異なる 複数のトランペットで演奏

長い管を折りたたんで作られたナチュラルトランペット。自然倍音しか出なかったため、出せる音階が限定されて、自由に半音階を吹けなかったようです。そのため、当時のトランペット奏者は、調の異なる複数のトランペットを持ち替えて、演奏していたといいます。現代のように輝くような音色ではなく、やわらかく気高い音色が特徴です。



ティンパニ

教会音楽に欠かせない重要な楽器 迫力ある音、引き締まった音色が魅力

オーケストラの最後尾にどっしり構える打楽器ティンパニ。今まで目立つ大きさですが、バロック時代のティンパニはもっと径が小さく、胴の深さも浅いものでした。当時は、教会音楽や祝祭的な曲には欠かせない重要な楽器だったようです。現代のティンパニとは一味違う、迫力ある音やオーケストラを先導するような引き締まった音色が魅力です。

鈴木優人指揮 バッハ・コレギュム・ジャパン

モーツアルト レクイエム KV626 交響曲第39番 変ホ長調 KV543

10/29(土) 15:00~ ■ 中ホール・大地 ■ S席7,500円 A席6,500円 こども・学生1,000円

[事前レクチャー] 鈴木優人が語る、モーツアルト「レクイエム」(演奏付)
10/15(土) 14:00~ ■ 地下リハーサル室 ■ 一般1,000円 こども・学生500円(事前申込制、先着順)



W.A.MOZART REQUIEM

モーツアルト レクイエム



指揮 | 鈴木優人
合唱・管弦楽 | バッハ・コレギュム・ジャパン



ソプラノ 森 麻季



アルト 藤木 大地



テノール 櫻田 亮



バス ドミニク・ヴェルナー

古楽器の演奏を聴いたことがありますか？壮大なスケールのオーケストラと違い、手作り感のある純朴な響きが魅力。
古楽器とはどのような楽器なのでしょう。また、そのスペシャリストたちを擁するオーケストラと合唱団、バッハ・コレギュム・ジャパンとは。



人気ソリストが共演することでも注目を集めるBCJの演奏会。人気と実力ともに兼ね備えた4名がステージを盛り立てます。ソプラノは日本を代表するオペラ歌手の森麻季さん、アルトは国際的なアーティストのひとりである藤木大地さん。テノールは古楽のスペシャリスト、櫻田亮さん、そして、バスは豊富なレパートリーを誇るドミニク・ヴェルナーさんが神聖なハーモニーを響かせます。

注目ください。
2013年に「マタイ受難曲」、19年に「メサイア」、そして、今回の「レクイエム」と、名曲を当時の響きで堪能できるグランシップならではの特別企画です。クラシックだからと身構えず、自然体で感じてみません。

世界が認める古楽器のスペシャリストたち、バッハ・コレギュム・ジャパン。作曲家が生きた時代の響きを再現する古楽というジャンル。その古楽の演奏に、欠かせないのが古楽器です。ヴァイオリン、オーボエ、トランペッタ、などの古楽器も現代の楽器と比べてかなりシンプル。音域も狭く、控えめな音量ですが、その時代の楽器の魅力や役割を最大限引き出すように、楽曲も書かれています。その時代の曲や楽器について、世界中の音楽学者が長年研究してきた演奏スタイルに限りなく近づいた響きを体感してみませんか。

今回演奏するバッハ・コレギュム・ジャパンは、国内最高峰の古楽オーケストラ、合唱団。バッハの宗教作品を中心としたバロック音楽の理想的な上演をめざし、国内のみならず海外からも度々招請される楽団です。今回お届けする「モーツアルト・レクイエム」は首席指揮者、鈴木優人氏が「ラクリモザ(涙の日)」に続く「アーメンフーガ」を補筆・校訂したもので、県内では初お披露目となります。指揮者をはじめ、作曲家、演奏家と様々な顔を持つ鈴木氏が譜面に綴った渾身のレクイエム。ぜひご注目ください。

31音で現代人の悲喜を描く木下短歌。初めて作歌・投稿した短歌が採用され、作歌一年で「全国短歌大会」（現代歌人協会主催）大会賞を受賞。SNSで若者を虜にする、現代短歌ブームの立役者のひとりです。

読む前と読んだ後の世界がわずかでも変わる、
そういう歌を書きたい。

木下 龍也



—小さい頃から言葉や文章を書くことが好きでしたか？

小学3年生ぐらいまで全然本を読んでいなくて。初めて読んだ本が怪談で、本当に怖くて3日間ぐらい寝られなかつたんですよ。その時に活字だけでこんなにも人を怖がらせる力があるんだということを体感して、小説家のような言葉で何かをする人になりたいなど漠然と思つていました。

—はじめは歌人ではなく、「ピーライターを目指していたそうですね？

はい。「ピーライター」の養成講座に通つて手応えもありました。でも、「木下君は物語や詩を書くほうに向いてるんじゃない？」と先生から言われて、自分のコピーを見返してみると確かに自己表現に近いと思ったんです。それを先生は見抜いて、ちゃんと伝えてくれたんですね。その頃、本当に偶然ですが、本屋で穂村弘さんの『ワインマーカーズ』に出会つて。短歌つて文語や旧仮名を使うものだと捉えていたから、とても自由で衝撃でした。同時に、「今書きたいと思った時の器になつてくれる詩形」だと確信したので、ちょっとと調子に乗つてしまい投稿して。初めて作った短歌が採用されたので、穂村さんが選者をしていた雑誌に

――短歌はどのようにして作りますか？
言葉から作るというよりは、頭の中にある断片的な映像を言葉に変換して作ります。その映像は、昔の思い出や風景。記憶の風景と、言葉にしたものを、何度も行ったり来たりしながら言葉をぼぐしていく。そうすることであ、読んだ人が想像できるものになるのかなと思っています。

——『つむじ風、』にあります』に取
締されてくる、「疑問守のよつな形を

した祖母がバックミラーで手を振つて
いる」を読んだ時、背中が丸くなつた
祖母を疑問符で比喩するとは、発想
が豊かだなと思いました。

車のバックミラーを見たら、おばあ
ちゃんが手を振つたというシーン
だけ覚えていて、短歌で残しておこう
と思ったんです。実際には、おばあちゃん
は正面を向いていたから自分がら
は疑問符のように見えないのだけ
ど、別の位置から俯瞰してみると、疑
問符みたいな形だなって。

——とても印象に残りました。
印象に残ると、その人の中から似た
ような記憶が引っ張り出される。その
ために、歌を一度ひねるようにしてい
ます。一枚の紙をひねるとくびれみた
いなのができますよね？それを短歌
でも作ろうとしています。読んだ人が
寄りかかつたり、身を委ねられたりで
さるよつ。

—木下さんの心を動かす短歌とは？
普通に読んでいて心が動く短歌は、既にあるものを比喩で繋いで世界の

「あなたのための短歌集」が注目を集めています。谷川俊太郎さんの「ポエメール」と桟野浩一さんの「名前短歌」がきっかけのようですね。

「名前短歌」は、依頼者の名前に使われている漢字で短歌を作り、完成したらメールで納品されます。僕の短歌は投稿やツイッターなど、不特定多数に向けて作っていましたが、「名前短歌」を知った時、「一人独りでもいいんだ」って気づいて。「ポエメール」は、谷川さんから毎月いろんな便せんで手書き風の詩が届くというもので、印刷

A portrait of a young man with dark, wavy hair and glasses, wearing a dark button-down shirt. He is leaning against a light-colored wall next to a window, looking thoughtfully out at a blurred green landscape.

見え方が変わらるような歌。例えば、吉川宏志さんの、「フィーラメントのことく後肢を光らせてあしなが蜂がひぐれに飛べり」という歌も本来、電球のフィラメントとアシナガバチの後ろ足は繋がらないですが、それが一首の中で繋がるという発見を経てしまつて、世界が更新されたような気持ちになつて、もう読む前の世界に戻れなくなる。読む前と読んだ後の世界がわざかでも変わる、そういう歌を自分も書きたいですね。

ではあるけれど、毎月手書きの詩が届くのが嬉しかった。その気持ちを知っていたから、誰か一人に向けて書こうと思った時、便せんに手書きで短歌を書いて送つてみようということで始まりました。

型”という“武器”を持たない自分が書けるだろうかという不安はあります。以前、谷川さんと岡野大嗣さんと連詩をした時に、自分では出せない言葉を引き出してもらえた感覚がありました。自分の「ソフトホール下にない言葉が出てしまったら…」とちょっと怖いですけど、新しい自分を生み出す良い機会になるのかなと楽しみにしています。

いないから、自分の経験していないうちがお題で、送った短歌を読んで、もし未来に希望を持てないと思われたら、まだ見ぬひとりの命がかかっていふし、誰かの人生の分岐になってしまふ。これは責任重大だと思いました。歌人としても、個人としても言える言葉が見つからないと思いながらも、子どもの目線に立ってみたら、この地球に自分のお母さんになつてくれる存在がいることは、間違いなく希望だと思えて、

不特定多数に向けて書いていた時は、自分の代わりはたくさんいると思つていました。でも、「あなたのための短歌」で一人に向けて書き始めてから、自分が作る意味があると思えたんです。僕の存在している意味を、短歌にもつているような気がして、います。

「いじわるな星だとお母さんがそこにいるなんら生まれてみるよ」と書きました。

自分の気持ちや景色など、普段流してきたことが整理できたり、残したりすることができる。でもなかなかその魅力に触れる機会が少ないんですね。「しづおか連詩の会」では、詩人のみなさんに感化されて、自分も書いてみたいたと思つてもらえたら嬉しいですね。

Tatsuya Kinoshita

木下龍也 歌人

山口県周南市出身。著書は『つむじ風、ここにあります』『きみを嫌いな奴はケズだよ』『天才による凡人のための短歌教室』『あなたのための短歌集』。岡野大嗣との共著に『玄関の覗き穴から差してくる光のように生まれたはずだ』、谷川俊太郎・岡野大嗣との共著に『今日は誰にも愛されたかった』がある。今秋、第3歌集を出版予定。

グランシップ2022年しづおか連詩の会

11/6(日) 14:00~
■11階会議ホール・風 ■1,000円
参加詩人／野村喜和夫、堀江敏幸、田中庸介
木下龍也、暁方ミセイ



10/29[土]

2022 ロボットアイデア甲子園
静岡県中・東部大会
■6階交流ホール ■13:00~16:30(予定)
三明機工(株) tel.054-366-0089

イベント

10/29[土]

しづキャリセミナー
■10階会議室 ■12:00~17:00
しづキャリ事務局 tel.054-281-5566

就職

10/14[金]

静岡県生涯学習推進フォーラム
「ひとを育てるまちを創る
～しづおかの学校と地域のこれから～」
■11階会議ホール・風 ■13:00~16:30
総合教育センター 生涯学習推進班 tel.0537-24-9715

その他

10/29[土]

グランシップ企画事業

本誌P8-9の詳細をチェック!

音楽

鈴木優人指揮 バッハ・コレギュム・ジャパン モーツアルト レクイエム

■中ホール・大地 ■15:00~ ■S席7,500円 A席6,500円 こども・学生1,000円
世界的な活躍で知られるバッハ・コレギュム・ジャパン(BCJ)。音楽史における最高傑作とも称えられる名曲をぜひ古楽器のオリジナル・サウンドで!



指揮: 鈴木優人(BCJ首席指揮者)



合唱・管弦楽: バッハ・コレギュム・ジャパン



ソプラノ: 森麻季



アルト: 藤木大地



テノール: 櫻田亮



バス: ドミニク・ヴェルナー

11/3[木・祝]

第4回 Digital Future Fest ジュニアプロコン in 静岡

■11階会議ホール・風 ■13:30~17:30(予定) エデュケーションナル・デザイン(株) tel.054-361-4320

イベント

11/5[土]

グランシップ企画事業

本と音楽の素敵な出会い 檀ふみの文学「おと」散歩 ～言葉と音のある風景～

■中ホール・大地 ■14:00~
■一般3,800円 こども・学生1,000円

文学や音楽に深い愛情を注ぐ檀ふみが紡ぎ出す文学と音楽の美しい出会い。日本が誇る一流音楽家たちの演奏と優しいトークで、音と言葉が響きあう柔らかな時間はどうぞ。

ナビゲーター: 浦久俊彦



ソプラノ: 天羽明恵 ヴァイオリン: 渡辺玲子 ピアノ: 江口玲



お話・朗読: 檀ふみ

グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

イベント

10/30[日]

第10回赤十字救急法競技会

■大ホール・海 ■12:00~16:00
日本赤十字社静岡県支部 tel.054-252-8131

イベント

11/2[水]~6[日]

令和4年度 静岡県高等学校
総合文化祭(美術・工芸部門)

第70回
静岡県高等学校美術・工芸展
■6階展示ギャラリー1
■10:00~18:00(最終日は10:00~15:00)
静岡県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部
tel.053-425-6020(浜松江之島高校 川邊)

展示

11/3[木・祝]

静岡県高等学校文化連盟
「器楽・管弦楽」専門部
第26回演奏会

■中ホール・大地 ■10:00~16:00
静岡県高等学校文化連盟「器楽・管弦楽」専門部
tel.054-334-0431(清水南高校 菊地)

音楽

2022年10月~12月

グランシップイベントカレンダー



グランシップホームページ
イベントカレンダーTOPへ

グランシップ企画事業において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、公演を急遽、変更・中止する場合や、
(お客様へのお願い)の内容を変更する場合があります。必ずグランシップホームページで最新情報をご確認の上、ご来場ください。
なお、貸館催事の実施につきましては、それぞれの主催者にお問い合わせください。

10/8[土]

グランシップ企画事業

舞台

人形浄瑠璃 文楽

■中ホール・大地 ■昼の部13:30~/夜の部18:00~
■1階席3,800円 こども・学生1,000円 昼夜通し券6,840円 2階席2,000円
大金を動かす飛脚問屋の養子忠兵衛と遊女梅川の恋と破滅に向かう物語、近松門左衛門の代表作のひとつ「冥途の飛脚」。菅丞相への忠義に殉じるなか松王丸夫婦の悲しみが描かれた浄瑠璃三大名作のひとつ「菅原伝授手習鑑」、屈指の名作をお届けします。



グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000

9/22[木]~10/9[日]

グランシップ企画事業

展示

グランシップ誰もがWonderfulアート

■6階展示ギャラリー ■10:00~17:00 ■入場無料
障がいの有無を超えて、誰もが持つ豊かな感性や表現の素晴らしさを感じる展覧会。今年は、美術家・奥中章人さんが手がける作品展「くうきとみずとひかりなわたしたち」と県内特別支援学校の皆さんの作品展「つくるよろこび あらわすちから」を同時開催。



グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000

10/1[土]

グランシップ企画事業

音楽

グランシップリサイタル・シリーズ 神尾真由子 ヴァイオリン・リサイタル

■中ホール・大地 ■14:00~
■一般3,800円 こども・学生1,000円

2007年に第13回チャイコフスキーアンサンブルコンクールで優勝し、世界中の注目を浴びてから、常に第一線で活躍を続ける神尾真由子。誰もが認める超絶技巧と重厚かつ甘美な音色にご期待ください。



ピアノ: 田村響
グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000

ヴァイオリン: 神尾真由子

10/13[木]

グランシップ企画事業

音楽

グランシップ出前公演(浜松市) ウィーンの風～ウィーン木管五重奏団

■アクティティ浜松 中ホール ■18:30~ ■一般3,000円 こども・学生1,000円

ウィーン・フィルなどウィーンを拠点に活躍する木管五重奏団のコンサート。音楽ナビゲーターによるわかりやすい解説と静岡県の高校生との共演で、本場ウィーンとの音楽交流も実現。



過去に他施設で実施した学生との交流演奏

演奏: ウィーン木管五重奏団、静岡県立浜松江之島高等学校芸術科音楽専攻、浜松学芸高等学校芸術科音楽コース生徒
ナビゲーター: 岡部武彦
グランシップチケットセンター tel.054-289-9000

その他

第17回静岡県消防殉職者慰霊祭
■6階交流ホール ■14:30~15:30
(公財)静岡県消防協会 tel.054-221-4119

就職

10/3[月]
若年者のための地元就職フェア in しづおか
■大ホール・海 ■12:00~16:00
静岡新卒者等人材確保推進本部(静岡労働局・ハローワーク・静岡県等)
(株)東海道シグマ tel.0120-034-036

イベント

第33回ドリームダンス・イン・静岡
■6階交流ホール ■13:00~18:00(予定)
ドリームダンス実行委員会(野中ダンススクール内) tel.053-464-0800

12/4[日]

【グランシップ提携公演】 第57回 ザ・スイング・ハード・リサイタル

■中ホール・大地 ■17:30~ ■1,000円(全席自由)

地元若者により結成されたビッグバンドはいつしか老舗となりました。マリテスをヴォーカルに迎え、リッチでエキサイティングなジャズをお楽しみください。

ヴォーカル:マリテス

曲目:A Foggy Day, Work Song 他

音楽会 tel.054-265-2930



音楽

11/23[水・祝]

舞台
親子でたのしむ「しょうてん会寄席」
■中ホール・大地 ■13:00~
■大人4,000円 子供2,000円
親子セット3,500円 障碍者1,500円
(一社)林家こん平事務所 tel.03-6273-9678

11/27[日]

講演会
第55回 東海薬剤師学術大会
■中ホール・大地 他 ■10:00~16:30
(公社)静岡県薬剤師会 tel.054-203-2023

講演会

12/3[土]・4[日]

その他
ー近代から現代への日本伝統工芸ー
歴代人間国宝大陶芸展
<併催>現代人気作家陶芸展
■6階展示ギャラリー1・2 ■10:00~18:00
(株)安心堂 054-245-2430

その他

12/18[日]

グランシップ企画事業

グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライヴ ブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラ directed by エリック・ミヤシロ

■中ホール・大地 ■17:00~

■一般6,000円
こども・学生1,000円

トランペット奏者エリック・ミヤシロが率いるトップ・プレイヤーで構成されたブルーノート東京オールスター・ジャズ・オーケストラがクリスマスに贈る極上のジャズ。

グランシップチケットセンター
tel.054-289-9000



音楽

12/10[土]・11[日]

イベント
第19回
お米日本一コンテスト in しづおか
■6階交流ホール
■10日11:00~17:00、11日10:00~15:00
お米日本一コンテストinしづおか実行委員会事務局
(静岡県経済産業部農業局農芸振興課)
tel.054-221-7435

イベント

12/11[日]

講演会
SBIRTS 普及促進セミナー in 静岡
アルコール依存症からの回復支援
■9階910会議室 ■13:15~16:15
静岡県断酒会 事務局 tel.054-296-1143(藤村)

講演会

12/15[木]~19[月]

展示
第31回愛護ギャラリー展
■6階展示ギャラリー
■15日 15:00~17:00、16~18日 9:00~17:00
19日 9:00~12:00
静岡県知的障害者福祉協会 tel.054-254-6341

展示

12/27[火]

音楽

吹奏楽ウインター・コンサート 2022

■中ホール・大地 ■17:00~

■300円(当日400円)

静岡東高校 吹奏楽部(中本)
tel.054-261-6636

12/25[日]

イベント
ダンスアワード2022

■6階交流ホール ■14:00~21:00
■5,000円
プロムナードダンス教室 tel.054-265-8161

12/26[月]

音楽

常葉大学吹奏楽団
ウインド・サウンズ・アンサンブル
第41回定期演奏会
■中ホール・大地 ■18:00~20:00
■前売500円
常葉大学吹奏楽団ウインド・サウンズ・アンサンブル
tel.080-2653-7481

12/20[火]

音楽

古澤巖×山本耕史コンサート
“Dandyism Banquet tour 2022”
■中ホール・大地 ■19:00~
■一般7,500円 プレミアム9,000円(新CD1,800円付)
(株)静岡リビング新聞社 tel.054-255-1231

12/25[日]

音楽

第7回
静岡県高等学校軽音楽新人大会
■中ホール・大地 ■10:00~17:15(予定)
静岡県高等学校文化連盟軽音楽専門部
tel.053-471-5336(浜松学芸高校)

音楽

11/14[月]

11/14[月]

講演会
ALWF 福祉とくらしのセミナー
■中ホール・大地 ■18:00~20:00
静岡地域労働者福祉協議会
tel.054-269-4628

講演会

11/6[日]

グランシップ企画事業
本誌P10-11のインタビューをチェック!▶

2022年しづおか連詩の会

■11階会議ホール・風 ■14:00~ ■1,000円
5人の言葉の表現者が織り成す40編の創作現代詩を、
本人の解説とともに披露します。



野村喜和夫(詩人)



堀江敏幸(作家・フランス文学研究者)



田中庸介(詩人・細胞生物学者)



木下龍也(歌人)



暁方ミセイ(詩人)

11/7[月]

大学・短期大学・専門学校 進学説明会

■大ホール・海 ■16:00~18:30
(株)昭栄広報 名古屋支社 tel.052-385-2089

11/8[火]

新技術交流イベント in Shizuoka 2022

■6階交流ホール 他 ■10:00~16:00
静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課
tel.054-221-2131

11/11[金]

就職氷河期世代向け 合同企業説明会

■9階910会議室 ■13:30~16:00(受付13:00)
(株)東海道シグマ tel.0120-034-036

11/11[金]

パラマウントケアサービス(株) 福祉用具展示会

■6階展示ギャラリー ■10:00~20:00
パラマウントケアサービス(株)静岡営業所
tel.054-266-7771

11/12[土]

合同企業面談会 シゴトフェア

■大ホール・海 ■11:00~17:00
(株)アルバイトタイムス 054-653-3383

11/12[土]

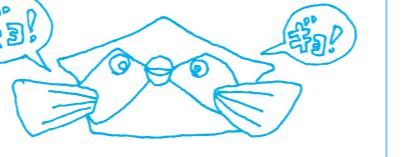
ふじのくに芸術祭邦楽演奏会

■中ホール・大地 ■13:00~15:30
静岡県三曲連盟
tel.054-237-6602(三曲連盟事務局)

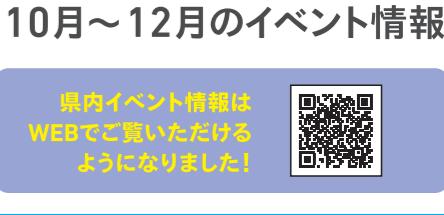
11/12[土]

薬学生のための仕事研究& インターナンシップフェア 静岡会場

■10階会議室 ■13:00~17:00
(株)マイナビ 静岡支社 tel.054-275-3200

<p>10/15 [土]~12/11 [日] 10:00~17:00 福井利佐 生命の力を描く切り絵の世界 ーふじさんに もりをつくるきー 駿府博物館 高校生以上800円、中学生以下無料 【問】駿府博物館 tel.054-284-3216</p>	<p>12/25 [日] 15:00~ 星陵中学校・高等学校 吹奏楽部 クリスマスコンサート2022 富士宮市民文化会館 500円 【問】星陵中学校・高等学校 吹奏楽部 tel.0544-24-4511</p>	<p>11/12 [土] 15:00~ 第13回プラスの祭典 in 沼津 ヤマハ吹奏楽団~匠のバンドを沼津で聴こう~ 沼津市民文化センター S席2,500円、A席1,200円、高校生以下1,000円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>「読書の秋」に歌集・詩集を 2020年度の「国語に関する世論調査」によると、1ヵ月間に1冊も本を読まない人の割合は約5割。忙しくて時間のない方は歌集や詩集を読んでみては?厳選された言葉に今を生き抜くヒントやドラマが詰まっています。</p>	<p>10/9 [日] 14:00~ 宮のおんがく会vol.11 トランペットとともに~金管アンサンブルと吹奏楽~ 富士宮市民文化会館 一般1,000円、高校生以下500円 【問】宮のおんがく会実行委員会(富士宮市民文化会館内) tel.0544-23-1237</p>	<p>文化・芸術に触れ 感性が磨かれる 静岡の秋</p>
<p>10/15 [土] 15:00~ 静岡・室内楽フェスティバル2022 吉野直子(ハープ) 池田昭子(オーボエ) 福田進一(ギター) ジョイント・コンサート 静岡音楽館AOI 一般4,000円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>	<p>中部 for Central</p>	<p>11/13 [日] 15:00~ 三浦一馬×寺井尚子 ピアソラ・パッション! ~ピアソラ生誕100周年によせて~ (リチャード・ガリアーノ・ジャパン・ツアーア-2021 振替公演) 三島市民文化会館 S席6,000円、A席5,000円 ※未就学児入場不可 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455</p>	<p>11/2 [水] 19:00~・11/3 [木・祝] 13:00~ M&Oplaysプロデュース クランク・イン! 三島市民文化会館 8,500円 ※未就学児入場不可 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455</p>	<p>10/11 [火] 12:00~、17:00~ 東山旧岸邸 伝統芸能講座 現代能 御殿場市東山旧岸邸 8,000円(食事、和菓子、入館料等含む) 【問】御殿場市東山旧岸邸 tel.050-83-0747</p>	<p>10月~12月のイベント情報</p>
<p>10/22 [土]~12/18 [日] 9:00~17:00 「名刀展」郷土ゆかりの名工と五ヶ伝の旅 藤枝市郷土博物館・文学館 (戦国大名展と共に) 高校生以上500円、団体400円、中学生以下無料 【問】藤枝市郷土博物館・文学館 tel.054-645-1100</p>	<p>開催中~11/13 [日] 9:00~17:00 広重と国貞 ~二人の絵師が描いた東海道五十三次~ 静岡市東海道広重美術館 一般520円、大高生310円、小中学生130円 【問】静岡市東海道広重美術館 tel.054-375-4454</p>	<p>11/19 [土] 19:00~ アクシスのタペ part175 ~歌・ピアノ編~ 伊豆の国市垂山文化センター(垂山時代劇場) 無料 【問】伊豆の国市長岡総合会館 tel.055-948-0225</p>	<p>11/5 [土] 13:30~ ケロボンズ ファミリーコンサート 長岡総合会館アクシスかららぎ 一般2,500円、中学生以下500円 【問】伊豆の国市長岡総合会館 tel.055-948-0225</p>		<p>東部 for Eastern</p>
<p>疫病退散を願い舞う 島田鹿島踊はその昔、島田宿に疫病が蔓延した時に、疫病退散を願って始められた奉納舞と伝えられています。島田大祭では、この鹿島踊も大名行列に参加。人々の健康やコロナ終息を願って舞うようです。</p>	<p>9/28 [水] 18:30~・29 [木] 13:30~ 30 [金] 18:30~・10/1 [土] 13:00~ 劇団四季ミュージカル 「ロボット・イン・ザ・ガーデン」 静岡市清水文化会館マリナート S席9,900円、A席6,600円、B席3,300円 【問】劇団四季 静岡オフィス tel.0570-008-110</p>	<p>11/20 [日] 15:00~ 2022 アートウィーク伊豆の国 海瀬京子氏(伊豆の国市出身のピアニスト)プロデュース 三浦香鈴・岩間優希ビアノコンサート 長岡総合会館アクシスかららぎ 500円 【問】伊豆の国市長岡総合会館 tel.055-948-0225</p>	<p>11/6 [日] 10:00~12:00 稻葉家で学ぶ 富士川の歴史と文化 稻葉家住宅(富士川民俗資料館) 無料 【問】富士山かぐや姫ミュージアム tel.0545-21-3380</p>	<p>10/13 [木]~2023.1/10 [火] 9:00~17:00 絹谷幸太・香菜子 二人展 万物の鼓動 池田20世紀美術館 一般1,000円、高校生700円、小中学生500円 【問】池田20世紀美術館 tel.0557-45-2211</p>	<p>開催中~2023.3/14 [火] 10:00~17:00(入館16:30まで) 「歴史へのとびら 井上靖が書く、北条、徳川を取り巻く人々」展 長泉町井上靖文学館 大人200円、高校生以下無料 【問】長泉町井上靖文学館 tel.055-986-1771</p>
<p>10/22 [土]~12/18 [日] 9:00~17:00 「天下人と東海の戦国大名展」 泰巖歴史美術館コレクション 藤枝市郷土博物館・文学館 (刀剣展と共に) 高校生以上500円、団体400円、中学生以下無料 【問】藤枝市郷土博物館・文学館 tel.054-645-1100</p>	<p>10/2 [日] 17:00出港 静岡・室内楽フェスティバル2022 清水みなどトワライト・クルージング・コンサート オーシャンプリンセス号 3,500円(ワンドリンク付) 【問】富士山清水港クルーズ株式会社 tel.054-353-2222</p>	<p>海外では「日本のバラ」 東洋から西洋へ伝わったという椿は絵画の題材になることも多く、「椿姫」というオペラも書かれるほど人気があります。椿を市の花木とする伊東市では小室山公園をはじめ、寺院や海岸など様々に椿を楽しめます。</p>		<p>10/15 [土] 19:00~ アクシスのタペ part174 ~サクソフォン・ピアノ編~ 長岡総合会館アクシスかららぎ 無料 【問】伊豆の国市長岡総合会館 tel.055-948-0225</p>	<p>①10/1 [土]・②11/5 [土]・③12/3 [土] 10:00~12:00、13:00~14:30 郷土教室 ①「江戸時代の三島宿」 ②「昔のくらし」「楽寿園の自然」③「ワラ細工」 三島市郷土資料館 無料(楽寿園の入園料別途) 【問】三島市郷土資料館 tel.055-971-8228</p>
<p>10/22 [土] 15:00~ 泉沢那るニューオリンズピアノカルテット 焼津文化会館 2,500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>		<p>11/23 [水・祝] 14:00~ さかなクンのギョギョッとびっくり おさかなのお話 富士宮市民文化会館 2,000円 ※3歳以下入場不可 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237</p>	<p>11/6 [日] 15:00~ 2022 アートウィーク伊豆の国 立川志らべ 落語会 伊豆の国市垂山文化センター(垂山時代劇場) 500円 【問】伊豆の国市長岡総合会館 tel.055-948-0225</p>	<p>10/15 [土]~2023.1/29 [日] 9:00~16:30 企画展 「古代伊豆国一国府と国分寺」 三島市郷土資料館 無料(楽寿園の入園料別途) 【問】三島市郷土資料館 tel.055-971-8228</p>	<p>10/2 [日] 10:00~14:00 いろいろな体験ができる博物館の日 富士山かぐや姫ミュージアム 体験による(無料~数百円) 【問】富士山かぐや姫ミュージアム tel.0545-21-3380</p>
<p>10/25 [火] 18:30~ アルキメデスの大戦 静岡市清水文化会館マリナート 10,000円 【問】キヨードー東海 tel.052-972-7466</p>	<p>10/8 [土]~12/11 [日] 9:00~16:30 芹沢鉢介と沖縄 静岡市立芹沢鉢介美術館 一般420円、高校生260円、小中学生100円 【問】静岡市立芹沢鉢介美術館 tel.054-282-5522</p>		<p>11/7 [月] 18:30~ 宮JAZZ 魚返明末&井上銘デュオコンサート 富士宮市民文化会館 一般1,500円、高校生以下500円 【問】富士宮市民文化会館 tel.0544-23-1237</p>	<p>10/16 [日]・11/20 [日] 13:30~14:30 かやぶき農家の癒しのおんがく会 旧福垣家住宅 無料 【問】富士山かぐや姫ミュージアム tel.0545-21-3380</p>	<p>10/2 [日] 17:00~ H ZETTRIO Kazemachizuki Tour 2022 —レソラピック— 三島市民文化会館 5,000円(当日500円増) ※未就学児入場不可 【問】三島市民文化会館 tel.055-976-4455</p>
<p>10/29 [土]・30 [日]・11/5 [土]・6 [日] 11:00~、14:00~(各回30分程度) サイエンスショー 「ゆらゆらゆら~ん ふりこのふしぎ」 静岡科学館る~る 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る~る tel.054-284-6960</p>	<p>10/9 [日]・10 [月・祝] 12:00~、13:00~、14:00~、15:00~(各回20分程度) テーブルサイエンス 「マッチ1本、火事の元!『燃える』の科学」 静岡科学館る~る 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る~る tel.054-284-6960</p>	<p>12/10 [土] 14:00~ YAMATO String Quartet 沼津市民文化センター 一般4,000円、高校生以下1,000円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>ナポレオンがモスクワへ突入した時に、極寒と積雪に苦しめられ敗北したという史実があります。日本では、「大雪」が過ぎると厳しい風が吹くことから、寒さを擬人化して「冬将軍」と言われるようになったようです。</p>	<p>「冬将軍」って誰のこと?</p>	<p>10/8 [土]~11/27 [日] 9:00~17:00(11月~16:30閉館) 富士・沼津・三島三市博物館共同企画展 このへん道中 いまむかし 富士・沼津・三島の観光 富士山かぐや姫ミュージアム 無料 【問】富士山かぐや姫ミュージアム tel.0545-21-3380</p>
<p>10/10 [月・祝] 14:00~ 第10回 清水にぎわい落語まつり (マリナート公演) 静岡市清水文化会館マリナート S席6,000円、A席5,000円、B席3,000円 【問】静岡市清水文化会館マリナート tel.054-353-8885</p>	<p>12/11 [日] 14:00~ 富士宮吹奏楽団 第36回定期演奏会 富士宮市民文化会館 500円 【問】富士宮吹奏楽団 fujinomiya_wind@yahoo.co.jp</p>		<p>10/30 [日] 14:00~ グランプリ・コンサート代替公演2022 打楽器集団「男群」 沼津市民文化センター 一般2,000円、高校生以下1,000円 【問】沼津市民文化センター tel.055-932-6111</p>	<p>10/8 [土]~2023.1/9 [月・祝] 9:30~16:30 特別展「無冠の仏像 伊豆・静岡東部の無指定文化財」/ 近代館:企画展「まなざしをみる」 上原美術館 大人1,000円、学生500円、高校生以下無料 【問】上原美術館 tel.0558-28-1228</p>	<p>GRANSHIP 16</p>

文化・芸術に触れ
感性が磨かれる
静岡の秋



県内イベント情報は
WEBでご覧いただけ
るようになります!



10/1 [土]・11/5 [土]・12/3 [土]
10:00~12:00、13:0

<p>11/12[土] 14:00~ 北端祥人ピアノリサイタル 茶の蔵 かねもティーカルチャーホール 一般前売3,000円、一般当日3,500円、高校生以下1,000円 【問】gala工房 tel.0537-21-1893</p>	<p>10/29[土]~12/18[日] 10:00~17:00(入館16:30まで) 近代出版とデザイン 一枚絵と絵葉書を中心にー(仮) 平野美術館 大人500円、中高生300円、小学生200円 【問】平野美術館 tel.053-474-0811</p>	<p>10/8[土]~11/27[日] 9:30~17:00(入館16:30まで) 特別展 日本画で綴る 源氏物語五十四帖展 浜松市秋野不矩美術館 一般800円、大学生・専門学生・高校生500円 70歳以上400円、中学生以下無料 【問】浜松市秋野不矩美術館 tel.053-922-0315</p>	<p>博学多才な家康のルーツ 今川家の菩提寺で、竹千代時代の家康が人質として過ごしたといわれる静岡市にある臨濟寺。文学や芸能などの英才教育を受けたといわれています。例年5月と10月の年2日だけ、特別公開が行われています。</p>	<p>11/23[水・祝] 13:30~15:30受付 る・ぐ・る×ラボ「失敗の科学」 静岡科学館る・ぐ・る 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・ぐ・る tel.054-284-6960</p>	<p>11/2[水] 18:30~ DRUM TAO 2022 新作舞台「KAIKI」 焼津文化会館 S席7,500円、A席6,500円 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>
<p>11/26[土] 16:00~ ANRI LIVE 2022 ~wave~ 森町文化会館 7,000円 【問】森町文化会館 tel.0538-85-1111</p>	<p>10/29[土]~2023.1/15[日] 9:30~17:30 市原淳のPOPな世界展(仮称) 磐田市香りの博物館 大人500円、学生200円、小中学生100円 【問】磐田市香りの博物館 tel.0538-36-8891</p>	<p>①10/8[土]・22[土] ②11/5[土]・③12/10[土] 10:30~12:00 ①生き物観察会 ②浜名湖サイエンスクラブ イカ・タコver ③カキver 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費100円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880</p>	<p>西 部 for Western</p>	<p>11/27[日] 13:00~16:30~ 東京キャラバン the 2nd 駿府城公園紅葉山庭園前広場 無料、事前申込制(申込多数の場合抽選) 【問】アーツカウンシル東京事業部 事業推進課 tel.03-6256-8434</p>	<p>11/12[土] 18:00~ 静岡・室内楽フェスティバル2022 AOI・レジデンス・クワルテット 静岡音楽館AOI 一般3,500円、22歳以下1,000円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>
<p>11/27[日] 10:00~15:30 *プールのみ~21:00 こどもワイワイ体験ワールド in 月見の里 文化ワークショップ、理科実験室 鉄道模型展、化石展示、水玉プール 袋井市月見の里学遊館 無料~1,500円 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>10/30[日] 10:30~ 月見の親子コンサート2022 袋井市月見の里学遊館 600円(チケット1枚につき未就学児1人同伴可) 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>10/30[日] 10:30~12:00 ①浮遊固化標本 ②透明骨格標本 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費1,000円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880</p>	<p>10/15[土]~12/4[日] 9:30~17:30 名刀 泰平を切り開く 一戦国から江戸へー 浜松市美術館 一般1,400円、高大生800円、70歳以上700円 【問】浜松市美術館 tel.053-454-6801</p>	<p>開催中~10/16[日] 9:00~17:00 特別収蔵展 浜松を愛した望郷詩人 森の水車 清水みのる展 浜松文芸館 無料 【問】浜松文芸館 tel.053-453-3933</p>	<p>12/3[土] 14:00~ オルガン¥500コンサート クリスマス★コンサート 三上郁代 静岡音楽館AOI 一般500円 【問】静岡音楽館AOI tel.054-251-2200</p>
<p>11/27[日] 10:30~11:30 ウォットファクトリー 毛糸ポンポン工作 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費200円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880</p>	<p>①10/30[日] ②12/25[日] 10:30~12:00 ウォットラボ ①浮遊固化標本 ②透明骨格標本 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費1,000円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880</p>	<p>10/15[土]~12/4[日] 9:30~17:30 名刀 泰平を切り開く 一戦国から江戸へー 浜松市美術館 一般1,400円、高大生800円、70歳以上700円 【問】浜松市美術館 tel.053-454-6801</p>	<p>開催中~10/16[日] 10:00~17:00(入館16:30まで) 聚錦 一狩野派・土佐派の競演ー 平野美術館 大人800円、中高生300円、小学生200円 【問】平野美術館 tel.053-474-0811</p>	<p>12/3[土]~2023.1/29[日] 9:00~16:30 コメ作りの考古学と民俗学 静岡市立登呂博物館 一般300円、高大生200円、小中生50円 市内小中生:市内在住70歳以上・未就学児無料 【問】静岡市立登呂博物館 tel.054-285-0476</p>	<p>11/15[火]~2023.1/22[日] 9:00~17:00 いろいろ魅せます 五十三次! 静岡市東海道広重美術館 一般520円、大高生310円、小中生130円 【問】静岡市東海道広重美術館 tel.054-375-4454</p>
<p>12/10[土] 14:00~ ルドルフとイッパイアッテナ 御前崎市民会館 大人1,500円、子ども(3歳~中学生)500円 【問】公益財団法人御前崎市振興公社 tel.0537-63-0195</p>	<p>出雲に行かない神様 日本中の神様が出雲大社に集う神無月。神々が出かけている間、恵比寿神や金毘羅神、荒神、道祖神などが「留守神様」となって代わりを務めるのだそうです。願いごとがある時は、留守神様にお祈りしましょう。</p>	<p>10/22[土]~12/4[日] 9:00~17:00 特別展「三方ヶ原の戦いと家康伝承」 浜松市博物館 大人500円、高校生200円 70歳以上250円、中学生以下無料 【問】浜松市博物館 tel.053-456-2208</p>	<p>①10/1[土]・15[土]・11/19[土]・12/17[土] ②10/29[土]・11/12[土]・12/3[土] 10:30~11:30 ①エサやり ②バックヤードツアー 浜名湖体験学習施設ウォット 参加費100円 ※抽選 入館料:大人320円、高校生以下・70歳以上無料 【問】浜名湖体験学習施設ウォット tel.053-592-2880</p>	<p>12/4[日] 14:00~ オペラ名曲コンサート ~森谷真理(Sop)& 村上敏明(Ten)~ 焼津文化会館 3,000円(友の会2,500円) 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>	<p>11/19[土] 14:00~ シン・ムジカ20周年記念II 中桐望ピアノリサイタル ~ベートーヴェンの四大ソナタ~ 静岡市清水文化会館マリナート 小ホール 一般3,000円、高校生以下1,000円 【問】シン・ムジカ tel.054-294-8127</p>
<p>12/18[日] 14:00~ みんなで楽しむクリスマスコンサート うさぎオーケストラ&合唱 袋井市月見の里学遊館 大人2,000円、18歳以下1,000円 親子券セット2,500円(当日200円増) 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>10/30[日] 14:30~ Mr.マリック&マギー司郎 in 森町 ~超魔術&笑魔術ここに極まり~ 森町文化会館 4,500円 【問】森町文化会館 tel.0538-85-1111</p>	<p>10/23[日] 14:00~ 前進座創立90周年記念公演 一万石の恋 ~裏長屋騒動記 愛の仮名手本篇~ 菊川文化会館アエル 5,000円(当日500円増) 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>	<p>10/22[土]~遠州の小京都で錦秋の紅葉を 秋が深まる頃、森町の小國神社の境内は次々に紅色に染まります。特に素晴らしいのが、境内を流れる宮川沿いのモミジ。その数、約1,000本。社殿脇にある太鼓橋付近が人気スポットのようです。</p>	<p>12/4[日]・18[日] 13:00~15:30受付 わくわく科学工作 「鏡のクリスマスカードをつくろう!」 静岡科学館る・ぐ・る 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・ぐ・る tel.054-284-6960</p>	<p>11/19[土] 14:00~ シン・ムジカ20周年記念II 中桐望ピアノリサイタル ~ベートーヴェンの四大ソナタ~ 静岡市清水文化会館マリナート 小ホール 一般3,000円、高校生以下1,000円 【問】シン・ムジカ tel.054-294-8127</p>
<p>12/20[火] 18:30~ ウイーン弦楽合奏団 クリスマス／アヴェマリア 菊川文化会館アエル 4,800円、友の会4,300円 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>		<p>10/23[日] 14:00~ 前進座創立90周年記念公演 一万石の恋 ~裏長屋騒動記 愛の仮名手本篇~ 菊川文化会館アエル 5,000円(当日500円増) 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>	<p>10/1[土] 14:00~ 月見のカフェコンサートvol.51 クラシック 袋井市月見の里学遊館 1,000円(当日200円増) 【問】袋井市月見の里学遊館 tel.0538-49-3400</p>	<p>12/14[水] 12:00~16:00~ 梅沢富美男 & 研ナオコ 『アッ』とおどろく夢芝居 焼津文化会館 6,500円、シニア(65歳以上)5,500円(当日各300円増) 【問】焼津文化会館 tel.054-627-3111</p>	<p>11/19[土]~2023.1/29[日] 10:00~19:00 杉浦非水 時代をひらくデザイン 静岡市美術館 一般1,300円、大高生・70歳以上900円、中学生以下無料 【問】静岡市美術館 tel.054-273-1515</p>
<p>12/24[土] ~ 9:00~17:00 テーマ展「家康伝承と浜松」 浜松市博物館 大人310円、高校生150円、中学生以下・70歳以上無料 【問】浜松市博物館 tel.053-456-2208</p>	<p>11/1[火]~2023.2/12[日] 9:00~17:00 収蔵展 浜松文芸館の宝物 新収集資料を中心 浜松文芸館 無料 【問】浜松文芸館 053-453-3933</p>	<p>10/28[金]~11/13[日] 11:00~17:00(休館:月~水) 創設25周年記念 樂土の森現代美術展2022 樂土舎 入場料:ドネーション 【問】樂土舎 tel.090-2774-3782</p>	<p>10/2[日] 13:00~ 第17回 アエルふれあいお月見コンサート 菊川文化会館アエル 無料 【問】菊川文化会館アエル tel.0537-35-1515</p>	<p>12/17[土]~2023.2/19[日] 9:30~17:00受付(最終入館16:30まで) 企画展 「大きくてみた!~大きくなると見えてくる~」 静岡科学館る・ぐ・る 無料(入館料別途) 【問】静岡科学館る・ぐ・る tel.054-284-6960</p>	<p>11/23[水・祝] 14:00~ 静岡市清水文化会館マリナー開館10周年記念 ローマの休日 全編上映ライブコンサート ~ローマ・イタリア管弦楽団~ 静岡市清水文化会館マリナー 一般8,000円、18歳以下無料(250席限定) ※未就学児入場不可 【問】静岡市清水文化会館マリナー tel.054-353-8885</p>
<p>キウイの樹に集まるのは… キウイフルーツはマタタビ科マタタビ属の植物。ネコを狂わすマタタビクンという成分を含むため、キウイの樹にはネコが集まりやすいといいます。市販品には微量しか含まれないので、反応しないネコもいるそうです。</p>	<p>11/5[土]・6[日] 10:00~15:00 月見の里野外フェスタ 袋井市月見の里学遊館 入場無料 【問】袋井市月見の里学遊館</p>				

静岡県富士山世界遺産センター

令和4年度 秋季特別展

士(サムライ)たちの富士山

10/1[土]▶30[日]

清見寺と武家政権
-足利将軍、豊臣秀吉、徳川家康-

第一部

11/3[木・祝]▶27[日]
頂へのあこがれ

富士山や三保松原ゆかりの名刹清見寺に伝來した足利将軍や豊臣秀吉、徳川家康関連資料を紹介するとともに(第一部)、江戸時代後期の武家による富士登山を記録した新出資料を公開し(第二部)、富士山と武家の政治・文化的な関係について通覧します。

会場／センター2階企画展示室 観覧料／一般700円、団体600円、70歳以上200円、その他無料(常設展観覧料含む)



「ギャラリートーク」「公開講座」を聴いてみよう！

作品の背景を知ると、富士山と武家の新たな姿が見えてくる。

10/1[土]
スペシャル・ギャラリートーク
渡邊 康弘氏(歴史家、清見寺文化財担当)10/16[日] 公開講座
「士(サムライ)たちの富士山」
松島 仁(静岡県富士山世界遺産センター教授)11/23[水・祝]
スペシャル・ギャラリートーク
平林 彰氏(山梨県立美術館学芸員)10/2[日]・10[月・祝]
11/3[木・祝]・27[日]
監修者が案内する特別鑑賞会
松島 仁(静岡県富士山世界遺産センター教授)

「歴史や作品の舞台」を旅してみよう！



推しはココ！

松島 仁 静岡県富士山世界遺産センター教授

豊臣秀吉の事績を描いた金屏風「御所参内・聚楽第幸図屏風」を静岡初公開！徳川家康を描いた金屏風「富士三保清見寺図屏風」との競演をお楽しみください。

静岡県富士山世界遺産センター

富士宮市宮町5-12 電話番号／0544-21-3776 開館時間／9:00～17:00(最終入館16:30)(7・8月 9:00～18:00 最終入館17:30)
休館日／毎月第三火曜日、施設点検日
観覧料／一般300円、団体(20名以上)200円/人、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等(要証明)無料

ふじのくに地球環境史ミュージアム

9/10[土]▶11/6[日]

特別展 絶海の自然 -硫黄列島をゆく-

小笠原諸島に位置する硫黄島とその南北に位置する北硫黄島・南硫黄島の3島からなる硫黄列島。各島に生息する固有動植物と、歴史の古い小笠原群島と比較することで、海洋島の生物進化を知る良い事例となっています。あまり知られていない硫黄列島の自然のおもしろさを伝えます。

観覧料／常設展観覧料でご覧いただけます。

主催／ふじのくに地球環境史ミュージアム

協力／神奈川県立生命の星・地球博物館 NPO法人 小笠原自然文化研究所



島にはどんな生物がいるの？



固有種 ミナミオウヒメカタゾウムシ

79年ぶりに再発見されたシマクモキリソウ

11/6[日]
14:00～15:30
岸本年郎
(ミュージアム教授)

硫黄列島の生物・自然の魅力や無人島調査の苦労や楽しさなどについて、臨場感あふれる写真を使って紹介します。

講演会でより深く知る！

同時開催中

開催中▶11/6[日] 観覧料／常設展観覧料でご覧いただけます。 第5回 ふじミュー写真展

今年で5回目となるふじミュー写真展では、事前に開催した写真コンテストの入賞・入選作品を展示しています。今年度のテーマは「しづおかに育まれる生命(いのち)」。生物の暮らし、生命を支える食のつながりなど、撮影者の想いあふれるその素晴らしい作品をぜひご覧ください。

探検調査の裏側

岸本 年郎
ふじのくに地球環境史
ミュージアム教授<ジュニア部門> グランプリ
撮影者：齊藤成伸 タイトル「ご帰宅」<一般部門> グランプリ
撮影者：竹下晴太良 タイトル「希望」

ふじのくに地球環境史ミュージアム

静岡市駿河区大谷5762 電話番号／054-260-7111 開館時間／10:00～17:30(最終入館17:00)
休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)
観覧料／大人300円、団体(20名以上)200円/人、大学生以下・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。
展示室1・2と図鑑カフェは無料でご利用いただけます。



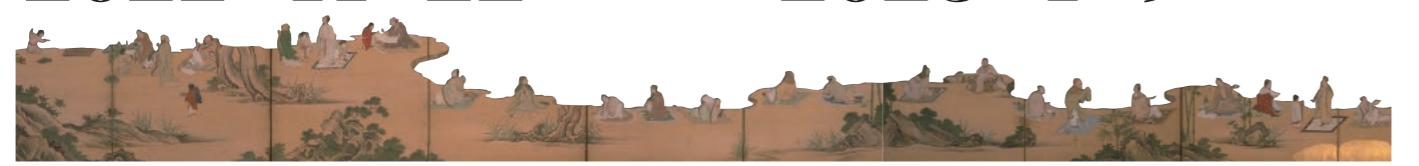
もうせんず　と
らんていきょくすいす

賴川図と蘭亭曲水図

《賴川図卷》修理後初公開

静岡県・浙江省友好提携40周年記念

2022年11月22日[火]—2023年1月9日[月・祝]



開館時間 10:00～17:30(展示室への入室は17:00まで)

休館日 毎週月曜日(但し、1月2日、1月9日は開館)、12月27日～1月1日

観覧料 一般300円(団体200円)、70歳以上および大学生以下無料

*企画展観覧券で、本展覧会とロダン館もあわせてご覧いただけます。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

つながる、次へ

The Birth of Seeing

Tomoko Konoike



高松市美術館での展示風景／《高松 皮トンビ》(部分)2022



《アースペイバー》2009



高松市美術館での展示風景2022

鴻池朋子は、アニメーション、絵画、絵本、彫刻などから手芸、おとぎ話、歌まで、あらゆる身近なメディアを用い、旅をして地形や季節と共に作品をつくり、作家活動の始まりから一貫して芸術の根源的な問い直しを続けてきました。美術館という場の意味や機能を根本から問い合わせた個展「ちゅうがえり」(アーティゾン美術館、二〇二〇年)から約二年が経過し、その間、高松市美術館、静岡県立美術館、青森県立美術館の三館をリレーする新たな個展の準備が進められてきました。展覧会は「みる誕生」と名付けられ、夏に開幕した高松市美術館からリレーのバトンを引き継いで、いよいよこの秋、静岡県立美術館へと会場を移します。エントランスホールでは、アーティストのスベイビーが来館者を出迎え、美術館の周辺に広がる裏山を、抜け道と見立て、人間がこれまで築き上げてきた美術館というシステムを少し開く試みが行われます。手で看(みて)、鼻で診(み)て、耳で視(み)て、そして引力や呼吸で観(み)ることで従来の美術館の仕組みから観客を解放するさまざまな取り組みに出会う場となります。ぜひ静岡県立美術館でリレーの経過を見届けていただければ幸いです。

(上席学芸員 川谷承子)

鴻池朋子 Tomoko Konoike

主な個展、2015～2017年「根源的暴力」神奈川県民ホールほか2会場(2016年芸術選奨文部科学大臣賞受賞)、「ハンターギャザラー」秋田県立近代美術館、2020年「ちゅうがえり」アーティゾン美術館(2022年毎日芸術賞受賞)他。1960年秋田県生まれ。

11月3日(木・祝)～2023年1月9日(月・祝)

開館時間 = 10:00～17:30(展示室への入室は17:00まで)

休館日 = 月曜日(ただし、1月2日(月・休)と1月9日(月・祝)は開館)

年末年始休館 = 2022年12月27日(火)～2023年1月1日(日・祝)

観覧料 = 一般1,200円(1,000円)・70歳以上600円(500円)・大学生以下無料

※()は前売りおよび20名以上の団体料金・収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

主催 = 静岡県立美術館／静岡新聞社・静岡放送

トーク1

11月6日(日)

出演:鴻池朋子×木下直之(当館館長)

会場:当館 講堂

聴講無料・事前申込不要、先着順(定員120名程度)

トーク2

11月20日(日)

出演:鴻池朋子×川谷承子(当館学芸員)

会場:当館 エントランスホール

聴講無料・事前申込不要、先着順(定員80名程度)

筆談ダンス Dance in writing

11月6日(日)

ろう者で、普段は手話や筆談で会話をする木下知威と鴻池朋子の二人が、声と聴覚ではなく、目と手と体を使って対話し、文字と絵が壁に描き出されます。

出演:木下知威(歴史学者)、鴻池朋子

会場:2階企画券売機

聴講無料・事前要申込、抽選(定員20名程度)

申込方法等の詳細は開催の1か月前を以て当館WEBサイトで掲示します

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
総務課 Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767
学芸課 Tel.054-263-5857 Fax.054-263-5742

ウェブサイト…<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館

検索

みる誕生
鴻池朋子展

鴻池朋子は、アニメーション、絵画、絵本、彫刻などから手芸、おとぎ話、歌まで、あらゆる身近なメディアを用い、旅をして地形や季節と共に作品をつくり、作家活動の始まりから一貫して芸術の根源的な問い直しを続けてきました。美術館という場の意味や機能を根本から問い合わせた個

展「ちゅうがえり」(アーティゾン美術館、二〇二〇年)から約二年が経過し、その間、高松市美術館、静岡県立美術館、青森県立美術館の三館をリレーする新たな個展の準備が進められてきました。展覧会は「みる誕生」と名付けられ、夏に開幕した高松市美術館からリレーのバトンを引き継いで、いよいよこの秋、静岡県立美術館へと会場を移します。エントランスホールでは、アーティストのスベイビーが来館者を出迎え、美術館の周辺に広がる裏山を、抜け道と見立て、人間がこれまで築き上げてきた美術館というシステムを少し開く試みが行われます。手で看(みて)、鼻で診(み)て、耳で視(み)て、そして引力や呼吸で観(み)ることで従来の美術館の仕組みから観客を解放するさまざまな取り組みに出会う場となります。ぜひ静岡県立美術館でリレーの経過を見届けていただければ幸いです。

グランシップ企画事業 9~12月のチケット発売情報

2022年9月現在の情報です。新型コロナウイルスの影響により、公演やイベントを急遽、変更・中止する場合や、発売日を変更する場合があります。

【グランシップ出前公演(三島市)】
オーケストラ・アンサンブル金沢 名曲コンサート チェロ:宮田大
2023年1/22(日) 14:00~ 三島市民文化会館 大ホール
S席4,800円、A席3,800円、こども・学生1,000円
友の会先行販売 10/16(日)~ 一般発売 10/23(日)~

【グランシップ提携公演】(かなりあ音楽堂)
ミュージカル「William's Express」~見つけられた日記~
2023年2/5(日) 14:00~ 6階交流ホール
指定席4,000円、自由席3,500円
一般発売 11/1(火)~

【グランシップ出前公演(下田市)】
っぽんこども劇場 ~浪曲わんだーらんど~
2023年2/23(木・祝) 13:30~/15:30~ 下田市民文化会館
大人1,500円、こども・学生500円
一般発売 12/7(水)~

グランシップ ジャズロック ライブ
fox capture plan×bohemianvoodoo
2023年3/4(土) 17:00~ 大ホール・海
一般3,500円、こども・学生1,000円
友の会先行販売 12/11(日)~ 一般発売 12/18(日)~

グランシップ寄席
古今亭菊之丞×古今亭文菊 二人会
2023年3/12(日) 14:00~ 6階交流ホール
一般3,800円、こども・学生1,000円
友の会先行販売 12/11(日)~ 一般発売 12/18(日)~

*グランシップ提携公演は、グランシップチケットセンター窓口のみでの販売です(電話予約不可)。その他プレイガイドは各団体にお問い合わせください。

TICKET グランシップ企画事業の公演チケットは、以下の方法でお求めいただけます。(ご購入の際には、友の会へのご入会がオトクです。)

グランシップWEBサイトから
<https://www.granship.or.jp/visitors/>
<https://yyk1.ka-ruku.com/granship-s/>

パソコンまたはスマートフォンで、グランシップWEBサイトのトップページの「チケット」から、空席状況に応じてお好きな席をお選びいただけます。(要事前登録、無料)

チケットの受取
 コンビニ(セブン-イレブン、ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料420円)、電子チケット(手数料無料)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)



お電話で
グランシップチケットセンター
 TEL.054-289-9000(10:00~18:30)※休館日を除く
 チケットの受取 コンビニ(ファミリーマート:手数料無料)、郵送(送料420円)、グランシップチケットセンターが利用できます。(予約日から7日以内)

グランシップチケットセンター窓口で
グランシップ内チケットセンター窓口(10:00~18:30)※休館日を除く
 チケットの受取 お支払い(現金またはクレジットカード)後、その場でチケットをお渡します。

PRESENT 『GRANSHIP』vol.31 読者アンケートプレゼント

ピアニスト・角野隼斗 サイン入り色紙

『GRANSHIP』vol.31のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、9/11(日)開催の「M.オルソップ指揮 ポーランド国立放送交響楽団 ピアノ:角野隼斗」出演のピアニスト・角野隼斗サイン入り色紙を2名様にプレゼントいたします。

郵便はがきまたはメールで、住所・氏名・性別・職業・電話番号・アンケートのお答えをご記入の上、下記までお送りください。

[1] 今号でよかつた記事は? [2] 本誌へのご意見・感想をお聞かせください。
アンケート内容は、今後の誌面作りの参考とさせていただきます。尚、頂いた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用します。締切は2022年11月15日(当日消印有効)です。

官製はがき宛先 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号
 グランシップマガジン『GRANSHIP』vol.31 プрезент係
 info@granship.or.jp
 (件名に、『GRANSHIP』vol.31 読者アンケート係 とご記入ください)



2名様

編集
後記

この夏、グランシップサマーフェスティバルへ劇場からのギフトプログラム~では、様々なイベント・ワークショップなどを開催し、多くの子どもたちが参加。子どもたちのアンケートを見ると、本物のアーティストと接することで大きな刺激を受けた子、アーティストという職業から自分の将来について考えた子など、それぞれが豊かな感受性で、感じたことを素直に表現していて、私たちも子どもたちからたくさんの元気をもらいました。



グランシップでは、スタッフと同様にグランシップの運営を支えるボランティアスタッフ約140名が「グランシップサポーター」として活動しています。今回は、8月に大ホール・海で開催した「グランシップ音楽の広場」と「グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル」についてご紹介。

久しぶりの開催となった夏の大ホールイベント。コロナ禍以降、チケットのもりりはスタッフの券面チェック後、お客様がご自身でもできる運用へと変化しました。また、ビッグバンド・ジャズ・フェスティバルでは、インターの学生とともに対応しました。終演後には、お客様からもサポーターからも「今年は無事に実施できて本当に良かった」という声が上がっていました。秋の公演に向けて、お客様が公演を快適にお楽しみいただけるよう引き続き活動を続けていきます。

2023年4月デビュー グランシップサポーター募集!(応募期間10/1~12/5)
 応募相談会10/29(土)・11/6(日)①10:00~②11:00~グランシップ4階会議室
 ▶詳しくは、チラシ・ホームページをご確認ください。

グランシップを飛び出して、きみ住むまちへ!アウトリーチ活動



グランシップが一流のアーティストと、県内の学校へ出向く「グランシップ 子どもアート体験!学校プログラム」ユネスコ無形文化遺産の「人形浄瑠璃 文樂」の出前講座を、静岡市立長田西小学校と富士市立須津中学校で行いました。文樂は、大阪で生まれた芸能で、現在も大阪を拠点に活動しています。出演者は、全国各地から集まって座を作っているのですが、今回訪問したうちの一校、富士市立須津中学校では、須津中出身で文樂人形遣いとして活躍している先輩がいることについて紹介しました。

文樂は、物語を語る太夫、情景などを表現する三味線、人形を操る人形遣いの三業から成ります。中でも、一体の人形を三人で操る三人遣いは、世界的に見ても非常に珍しい遣い方であるという説明の後、早速短い実演で文樂がどういうものかを見てみます。体育館にマイクなしで響く太夫の語り、場面に合わせて緩急をつけて弾く三味線、まるで生きているかのように滑らかでリアルに動く人形に、会場の子どもたちはもちろん、先生方も息を飲むように見入っていました。

太夫からの語りの解説では、浄瑠璃の中で演奏される「義太夫節」の特徴として、声を出すことを「歌う」と呼ばず、「語る」と言うこと、感情を大きく伝えるのがその役割で、あらゆる登場人物を表現することを説明しました。また三味線はいわゆる伴奏ではなく、様々な場面を三味線一本で演出します。笑う場面では、太夫の笑い声に合わせ、泣きの場面では物悲しく、そのシーンを彩ります。

卒業生が人形遣いとして活躍していると聞き、舞台を見てみたいと思った(生徒)



今回のように伝統芸能の世界で活躍する卒業生がいるということは、子どもたちにとって遠かつた世界が、少し身近なことであったようです。今後も静岡県文化財団・グランシップは、みんなの街に本物の文化芸術をお届けします!

賞し、本物の芸の奥深さを改めて味わいました。



最後に、「伊達恋姫物語」の実演を鑑賞しました。

人形の手を合わせたり、歩いたりする動作は、やってみるととても難しくて、なにか人形遣いに挑戦です。体験をする代表者を決める時には、惜しくも代表に選ばれなかつた子は本当に悔しがっていたそいつのときには歓声があがりました。

人形の構造と、主遣い、左遣い、足遣いの三人でどのように人形を動かしているのかという説解を経て、よいよ子どもたちも人形遣いに挑戦です。体験をする代表者を決める時には、惜しくも代表に選ばれなかつた子は本当に悔しがっていたそいつのときには歓声があがりました。

最後に、「伊達恋姫物語」の実演を鑑賞しました。人形の手を合わせたり、歩いたりする動作は、やってみるととても難しくて、なにか人形遣いに挑戦です。体験をする代表者を決める時には、惜しくも代表に選ばれなかつた子は本当に悔しがっていたそいつのときには歓声があがりました。

最後に、「伊達恋姫物語」の実演を鑑賞しました。

人形の手を合わせたり、歩いたりする動作は、やってみるととても難しくて、なにか人形遣いに挑戦です。体験をする代表者を決める時には、惜しくも代表に選ばれなかつた子は本当に悔しがっていたそいつのときには歓声があがりました。

最後に、「伊達恋姫物語」の実演を鑑賞しました。

人形の手を合わせたり、歩いたりする動作は、やってみるととても難しくて、なにか人形遣いに挑戦です。体験をする代表者を決める時には、惜しくも代表に選ばれなかつた子は本当に悔しがっていたそいつのときには歓声があがりました。

</div